

## 平成29年のはじまりに寄せて

教頭便り No 9

平成29年1月7日(土)

茨城県立鬼怒商業高等学校 教頭 宇都木 直之

新しい年が明けてもう一週間が経とうとしています。心身共に万全で迎えたはずの新年でしたが、正月三日目の朝に喉の痛みを感じました。うがいをしたり温かくマスクをして十分な睡眠をとったりしましたが、お恥ずかしいことに私は一度こうなるともうしばらくはだめなのです。未だに鼻声と喉のからからが続いています。2月には修学旅行も控えている身、こんなことではいけません。今年も体調管理を念入りに、節制に努め健康第一でいかなければと気を引き締めております。



冬休みは楽しいこともありました。家族で今年は富士山方面(富士サファリパーク・富士急ハイランド)に行ってきました。動物園ではなく、こちらが車やバスなどの箱(檻)に入って野生に近い動物の様子を目の前に見るのは大変迫力がありました。富士急ハイランドでは、強風で数日動かなかった「ふじやま」というジェットコースターが途中から運良く動き出し、乗ることができました。子供の頃のわくわくする気分思いっきり帰ることができました。



また、富士山を見てその大きさに圧倒されました。私の住んでいる古河市の渡良瀬川の土手からも、毎日天気良ければ夕日に染まった富士山を見ることができるのですが、本当に自分の目前に迫っている富士山というのは全く趣おもむきが違います。空気が澄んでいて清々しい青空の中にどっしりと座り込んでいる富士山を見てみると、気持ちが穏やかになり落ち着いてくるのです。少々のことでは何があっても揺るがないぞ、という勇気が湧き上がってくるような感じになります。

朝テレビをつけてみると、「田部井淳子 最後の登山」という番組をやっていました。田部井さんは女性世界初のエベレスト登頂に成功した人です。晩年はがんと闘いながら被災して苦しんでいる東北の高校生を勇気づけようと、一緒に富士登山に挑戦している姿が描かれていました。93人全員が登りきった時、「自分もだめだということ



が何回もありながら生きてきた」「この高さまで登らなければこの空気は感じられない」「ここでしか感じられない雰囲気」「みんなが登れるわけではないのだから、ここに登ったということは誇り」「一步一步登っていけば必ず頂上にたどりつける」など勇気やパワーをもらいました。これらの先輩を手本に今年も頑張っていきたいと思いました。